

一般質問 要旨 市政の内容を聞く

★…一問一答方式

- 1 大石 ふみお (民主・市民フォーラム)

①生活道路について

②公園の活用について

③落書き問題と対応について

④まんがぱーくについて
- 2 伊藤 大輔 (民主・市民フォーラム)

①市民参画と議会の役割・行政の役割

②出産・育児に対する応援体制
- 3 安東 太郎 (安進会)

①貞明皇后御歌碑の管理について

②防災無線の防犯活用について

③南口区画整理事業の清算金について

④立川駅周辺の落書き増加について

⑤北口西地区再開発事業での安全対策について

⑥モノレール等のエスカレーター管理について

⑦保育園待機児対応について

⑧眼鏡橋交通対策について

⑨柴崎福祉会館の座イスについて

⑩職員規範について
- 4 高口 靖彦 (公明党) ★

①電子行政・電子社会について

②通学路、生活道路等の交通安全について

③高齢者・障がい者にやさしい街づくり

④空き家対策について
- 5 梅田 春生 (民主・市民フォーラム)

①公共施設のトイレのバリアフリー化について
- 6 伊藤 幸秀 (公明党)

①小学校の学区の区割について

③特別養護老人ホームについて

①グループ旅行高齢者支援事業について
- 7 浅川 修一 (日本共産党) ★

①立川駅南口のまちづくり等について

②行財政改革について

③第4次長期総合計画について
- 8 福島 正美 (公明党) ★

①立川市の教育について

②障害者施策について
- 9 木原 宏 (たちかわ自民党)

①砂川地区のまちづくりについて

②第五中学校の施設について

③泉市民体育館について
- 10 永元 須摩子 (日本共産党)

①保護者の願い認可保育園の増設などについて

②「いじめ」暴力・体罰から子どもの命を守る施設についてなど

③学童保育所の待機児問題について
- 11 古屋 直彦 (たちかわ自民党) ★

①立川市学校給食共同調理場について

②開発が進む西武立川駅周辺について

③武蔵砂川駅の周辺について
- 12 堀 憲一 (公明党) ★

①都市づくり・街づくりについて

②防災対策について

③契約について
- 13 山本 みちよ (公明党) ★

①行政サービス(窓口業務)の向上について

②高齢者が元気に暮らせる街をめざして

③子どもたちの安全・安心を守るために

④防災対策について
- 14 佐藤 寿宏 (たちかわ自民党)

①再資源化装置導入について

②基地跡地へのごみ焼却場移転について

③予防医学について
- 15 太田 光久 (民主・市民フォーラム)

①福祉政策の充実について

②公共施設のあり方・集約化について

③一芸職員の採用について
- 16 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク) ★

①子宮頸がんワクチンについて

②住み慣れた「まち」「家」で暮らし続けるために

③地下水保全条例の必要性について
- 17 岩元 喜代子 (公明党)

①心身ともに健康な生活を送るために

②防災対策について

③西砂町・一番町の地域課題について
- 18 中山 ひと美 (たちかわ自民党)

①まちづくりについて

②立川市の教育行政どう考えますか
- 19 堀江 重宏 (日本共産党)

①保健・医療の充実について

②共通番号制(マイナンバー) 法案について
- 20 上條 彰一 (日本共産党) ★

①防災対策について

②若者の雇用と生活への支援について
- 21 田中 清勝 (民主・市民フォーラム) ★

①地方分権について

②市民の意見の把握について

③在宅介護の現状について
- 22 五十嵐 けん (市民の党) ★

①談合をなくす入札・契約制度改革について

②市民に役立ち、愛される図書館を!! 図書館行政とその「継承改革」について

③家庭ごみの有料化の延期を!! 少なくとも次期市議会議員選挙において市民の民意を問うべきです。
- 23 大沢 豊 (みどり立川) ★

①障害者総合支援法、障害者優先調達法について

②成年後見制度と障害者の選挙権について

③子どもの貧困について

○議長、副議長及び監査委員は一般質問を行っていません。

南口区画整理事業の清算金をゼロに

緩和策を取りまとめていく
安東 太郎(安進会)



問 立川駅南口土地区画整理事業の清算金について、4月に2回行われた土地区画整理審議会では、どのような意見が出されたのでしょうか。また、審議会での討論や議論を経て、今後の対応はどのようなものになるのでしょうか。地域のきずなを大切に、さらなる立川駅南口の発展につながるためにも、権利者の清算金の負担をなくし、円満解決することを強く希望します。清算金ゼロについて見解を伺います。

答 土地区画整理審議会では、市の施策としてできる限り徴収負担が生じないよう、可能であれば清算金ゼロを含めて検討し、早期に本事業を完成してほしいとの意見をいただいています。現時点では、市が受け取る交付金については権利者に還元したいと考えていますが、審議会からの意見を受け、次の議会に向け、徴収清算金をゼロにすることも視野に入れながら、清算金の緩和策を取りまとめていきます。

落書きされないまちづくりを

効果的な策を考えたい

大石 ふみお(民主・市民フォーラム)



問 市内の至る所で落書きが見られます。落書きは犯罪であり、まちの美観を損ね、公共物の被害は税金で補修しなくてはなりません。そこで、今後は落書きの再発防止に力を入れていくことが肝心だと考えます。特に立川駅北口周辺のファールアートへの落書きは、防犯カメラの設置や巡回パトロールなどの対策を講じるべきです。また、落書き防止条例を制定するなど積極的に行動すべきだと考えますが、見解を伺います。

答 ファールアートは109体の作品があり、全てを監視することは難しいと考えます。頻繁に落書きをされる作品に防犯カメラを設置することとは、ファールアート管理委員会などと一緒に研究していきたい。また、落書き防止に関する条例の制定については、落書きをさせないための環境づくりを条例で施行している自治体から、実情や実効性などについて話を伺い、より効果的な落書き防止策を考えていきたい。

通学を見守る方々に感謝状を

必要だと考えている
高口 靖彦(公明党)



問 各小中学校の通学路で、シルバニアなどの大勢の方々が、暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、長年にわたって通学途中の子どもたちを見守ることに尽力されました。こういった方々の励みにするため、それぞれの学校ごとでの取り組みにとどまらず、例えば学校や地域から推薦してもらい、市や教育委員会から感謝状を出し、教育フォーラムなどで表彰することはできないでしょうか。

答 子どもたちの日常の見守りに協力していただいている方々への感謝の気持ちを表す取り組みについては、各学校において、感謝の集いを行う、行事に招待する、子どもたちが手作りのレイをプレゼントするなど、それぞれの特色を生かしながら行っている状況です。ご指摘のように教育委員会として感謝の気持ちを表すことも必要だと考えていますので、感謝状を含め、感謝の意をどのように表したらよいか、検討していきたい。

市民からの意見収集方法に工夫を

方法を検討していきたい

伊藤 大輔(民主・市民フォーラム)



問 市民参画について、本市ではパブリックコメントや地域説明会などが積極的に行われている一方で、市民からは「自分たちの思いが反映されていない」との声が聞かれます。市民から意見収集を行うにあたり①何を聞くのか、②どうやって聞くのか、③聞いた声をどうするのかについて、さらに工夫が必要だと考えます。情報発信、情報提供について、どのような視点から取り組みを進めていくのか、今後の方向性を伺います。

答 市民との協働によりまちづくりを進めるためには、情報の共有化は欠かせないと考えます。パブリックコメントの結果や市民が参加した審議会の議事要旨などをより速やかに公開し、情報伝達の方法を改善していきたい。また、市民から頂いた意見を全て反映させることは困難ですが、反映されたもの、されなかったものなど、その結果を丁寧に説明する必要があると考えており、方法を検討していきたい。

柴崎学習館などの移転に地域の声を

利用者の意見を聞いていく
浅川 修一(日本共産党)

問 第一小学校は建てかえにより、柴崎学習館などと合わせた施設になります。地域住民の声を聞きながらその検討をしていくべきです。柴崎学習館の利用者が、合築後の駐車スペースが少なく懸念している件は解決したのでしょうか。現在の柴崎学習館を、合築後の駐車スペースとすることを検討していただきたい。また、柴崎学習館は、中央公民館として機能してきましたが、今後の役割について伺います。

答 柴崎学習館は、地域の学習館としての位置づけをしていますので、他の学習館と同等の駐車台数を整備します。大きな会議などで駐車スペースが足りない場合は、近隣の駐車場を案内し、対応していきます。今後も、柴崎学習館の効果的な活用に向けて、利用者の意見などを聞き、そのあり方についてさらに検討を進めていきたい。なお、柴崎学習館や柴崎学童保育所などの、移転後の跡地利用については未定で、今後検討していきたい。

小学校の学区の見直しを

慎重に可能性を研究したい
梅田 春生(民主・市民フォーラム)

問 錦町には第三小学校と第七小学校があり、錦町の中央を通る立川通りを横断して通学する子どもがいます。現在、立川通りは拡張されて四車線になり、小さな小学生がこの通りを横断して通学することは、危険になってきていると考えます。小学校の学区の見直しをしてはいかがでしょうか。ただし、道路に合わせて学区の見直しをすると、一つの自治会の中で子どもたちが別々の小学校へ通う状況が生じますが、見解を伺います。

答 市内のそれぞれの学区は、これまで地域の中で定着してきたという経緯があります。そのため、学区の見直しについては、自治会や地域の状況も含め、その影響を考慮し、慎重に取り組み必要があると考えています。地域の拠点でもある学校を存続し、児童生徒の学習環境を整えるという意味では、見直しは有効な手段であると認識しているため、今後、児童生徒数の推移を調査しながら、その可能性について研究したい。

道徳的価値を伝える教育を

学校生活全体で取り組む
福島 正美(公明党)

問 子どもたちが生きる力を身につけるためには、基礎的な知識とともに道徳教育が重要です。本市でのこれまでの道徳教育への取り組みと成果についてお聞かせ下さい。親切、勇気、正義、勤勉、正直、誠実など、徳目と言われるものは、日本人が歴史の中で時間をかけて醸成してきた重要な価値項目であり、普遍的なものです。これらの道徳的価値を子どもたちに伝えるためには、繰り返し、地道な努力が必要だと考えますが、見解を。

答 道徳教育は各学校において担当者を指名し、道徳教育年間指導計画を作成し、教材を利用して指導しています。また、道徳授業地区公開講座を年1回実施し、保護者や地域に情報発信するとともに、意見交換を行っています。子どもたちが道徳的価値に基づいて自ら判断し実践する力を養うためには、あらゆる場面をとらえながら、その都度繰り返し子どもたちに教える必要があると考えており、学校生活全体の中で取り組んでいきたい。

グループ旅行高齢者支援事業の継続を

経営方針の中で判断
伊藤 幸秀(公明党)

問 グループ旅行高齢者支援事業は、これまで幾度となく制度が見直されてきました。この事業はサンセット事業になっていますが、利用者からは多くの喜びの声をいただいています。そこで、この事業のこの2年間の実績と現時点での評価をお聞かせください。この事業は本市の特筆すべき高齢者向けの施策であり、利用状況も大変活発なことから、この先も継続し、内容を充実させていくべきだと考えますが、見解を伺います。

答 グループ旅行高齢者支援事業の平成24年度利用実績は、前年度比5%増の2千768人です。利用者内訳は団体が約68%、夫婦・家族が約23%、友人・知人が約9%です。この事業は今年度までのサンセット事業として実施していますが、高齢者のひきこもりの防止や交流の促進、あるいは生きがいづくりに寄与しているものにとらえております。事業の継続については、26年度の予算編成時に作成する経営方針の中で判断していきます。



平成24年に開園した森の子保育園

用語解説 「サンセット事業」とは

予算や行政組織が肥大化することのないように、あらかじめ期限を設け、その期限を過ぎたら自動的に一度廃止し、継続については再検討することを明示された事業のこと。



立川通り (第三小学校付近)

西武立川駅周辺の開発に伴う対応を

それぞれ対応していく
古屋 直彦(たちかわ自民党)

問 西武立川駅南口は民間事業者による大型開発が進み、一つの大きなまちが生まれようとしています。この地域の人口増加により、西武小学校の児童数が増加しますが、児童の転入予測数に対して、新しく用意する教室の数は適切になっているのでしょうか。保育園についても、入園希望者を十分に受け入れられるのでしょうか。また、この地区の新しい自治会の形成について、市はどのような対応をするのか伺います。

答 西武立川駅南口の開発により、西武小学校の児童数は最大200人程度増加すると予測しており、普通教室を6教室用意することで対応できると考えています。保育園については、初年度の入園希望者を約20人と予測し、その後も一定の増加を見込み、定員約30人の認可保育園の新設を予定しています。昨年、この地区の住居の販売事業者などに、新たな自治会結成の働きかけをし、現在一戸建ての区域は結成の手続き中とのことです。

学校施設の弾力的な修繕を

緊急で必要な場合は実施する
木原 宏(たちかわ自民党)

問 第五中学校の家庭科室でお湯が出ないと聞きましたが、給湯設備はどのようになっているのでしょうか。また、体育館が非常に老朽化してきています。公共施設保全計画を見ると、第五中学校はしばらく建てかえなどの対象ではありません。具体的な保全計画の対象となる前の施設や、グラウンドなどの計画外の場所でも、学校関係者から要望される緊急を要する改修、改善については、保全計画とは別に弾力的に取り組みすべきです。

答 第五中学校は、家庭科準備室に給湯器を設置していますが、現在故障中なので、早急に修繕を予定しています。また、体育館については、劣化を進めないために、今年度は雨漏りの修繕を実施したい。なお、床全面の修繕は、市内の学校施設全体の修繕に関する緊急度などを勘案し、検討していきます。公共施設保全計画との関係では、緊急で修繕が必要な場合は、保全計画とは別に修繕を実施していきます。

災害時の緊急輸送道路整備を

さらに努力が必要
堀 憲一(公明党)

問 災害時に道路が使えないか使えないかで、救出活動に大きな差が出ます。そのため、緊急輸送道路である幹線道路などの整備が必要です。平成24年度の補正予算で道路の空洞化について調査すると聞いていますが、現在の状況と今後の計画について伺います。また、災害時に沿道の建物が倒壊した場合には、瓦れきにふさがれて道路が通れなくなるため、沿道建物の耐震化が必要だと考えます。耐震化の進捗状況について伺います。

答 道路の空洞化調査は、緑川通り、羽衣いちよう通り、みわ通りの3路線について都と事前協議中です。今後は1級、2級の幹線道路のうち、緊急輸送道路に指定された区間を含む路線で調査を実施していきたい。道路沿道の建物の耐震化については、都に緊急輸送道路を対象とした補助制度があり、129棟が対象建築物です。耐震化の状況は、平成24年度末で耐震診断が33棟、耐震改修が1棟であり、さらに努力が必要だと考えています。

保護者の願い 認可保育園の増設を

引き続き研究したい
永元 須摩子(日本共産党)

問 保育所に入所できない待機児童が大きな社会問題になっていますが、本市の市民意向調査などでも、認可保育園の整備について、保護者の方々の大きな期待、切実な願いが寄せられています。さらなる認可保育園の増設と今後の待機児童解消策について見解を伺います。認可保育園の増設は、子どもたちの豊かな成長のために、女性の労働力を社会に引き出すためにも必要です。積極的な増設計画を要望します。

答 認可保育園の増設については、平成24年度に1園新設し、さらに西武立川駅南口複合開発事業に伴い、社会福祉法人が運営する認可保育園の26年4月開設に向けて取り組みを進めています。今後の待機児童対策については、27年に導入される子ども・子育て新システムを踏まえ、26年度当初までに「保育緊急確保事業計画」を策定することになっています。保育の質や安全性の確保に努めながら、引き続き研究していきたい。